

1. 茶業の見通しと協会事業計画

新型コロナウイルス感染症は、5月から5類に移行することが決定されました。マスク着用も個人の判断で良いとのことで、徐々にではあるがコロナ前の生活に戻り経済も順調に回復してくれればと期待されます。

また本年は、関西茶業振興大会の出品茶審査会と入札販売会が京都で開催されます。昨年の全国茶品評会に引き続き府内産茶が好成績を収められるよう期待されています。緑茶の取引については、順調に季節も進んでいることから早い出回りが予想されます。霜害にご注意いただき良質で安心・安全な宇治茶の生産と市場での活発な宇治茶の取引をお願いしたいと存じます。

このような茶業を巡る情勢を踏まえ、協会員並びに関係機関各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第であります。

各事業計画は次の通り

(1) 取引保証事業

第一基金・第二基金の強化・充実を図ることはもとより、保証取引の状況を迅速かつ的確に把握できる体制を確立し、京都府茶業における宇治茶取引の安定につとめ、安心・安全な宇治茶の安定供給に寄与する。

(2) 宇治茶振興事業

全農京都府本部並びに、京都府茶協同組合における茶取引の円滑化を図るとともに、優良茶産地との取引の進展に努めるほか、引続き府内教育機関への宇治茶資料冊子の無料配布や、宇治茶振興関連イベントへの助成、各産地で行われる茶香服大会などの茶振興事業に対し助成や協力を行い、宇治茶振興に寄与する。